

2021年6月11日

各 位

会 社 名	株式会社揚工舎
代表者名	代表取締役社長 伊藤 進
(コード番号	6576 TOKYO PRO Market)
問合せ先	取締役管理本部長 中山 俊之
T E L	03-5944-2680
U R L	<a href="http://rehabili-youko.com/">http://rehabili-youko.com/</a>

(訂正) 「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正に関するお知らせ

2021年5月18日に発表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、連結子会社からの配当に係る源泉税(10,210千円)を、販売費・一般管理費における租税公課から、法人税等に振替える訂正を行ったためであります。

なお、当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益に変更はありません。

2. 変更の内容

次ページ以降に記載の通りです。

訂正箇所には下線を付して表示しております。

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

【訂正前】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,225	12.3	51	7.3	106	181.4	45	174.6
2020年3月期	1,982	12.6	48	△53.9	37	△59.7	16	△76.8

(注) 包括利益 2021年3月期 46百万円 (155.5%) 2020年3月期 18百万円 (△74.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	64.52	—	13.4	7.0	2.3
2020年3月期	23.50	—	5.4	2.6	2.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

【訂正後】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,225	12.3	61	28.5	116	208.4	45	174.6
2020年3月期	1,982	12.6	48	△53.9	37	△59.7	16	△76.8

(注) 包括利益 2021年3月期 46百万円 (155.5%) 2020年3月期 18百万円 (△74.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	64.52	—	13.4	7.4	2.7
2020年3月期	23.50	—	5.4	2.6	2.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

【訂正前】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,337	5.0	121	136.3	111	4.7	64	43.3	92.44

【訂正後】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,337	5.0	121	97.2	111	△4.4	64	43.3	92.44

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 【訂正前】

(前略)

この結果、当社グループの当連結会計年度における売上高は2,225,698千円（前連結会計年度比12.3%増）となり、営業利益は51,581千円（同7.3%増）、経常利益は106,491千円（同181.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は45,167千円（同174.6%増）となりました。

(後略)

#### 【訂正前】

(前略)

この結果、当社グループの当連結会計年度における売上高は2,225,698千円（前連結会計年度比12.3%増）となり、営業利益は61,791千円（同28.5%増）、経常利益は116,701千円（同208.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は45,167千円（同174.6%増）となりました。

(後略)

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

#### 【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて179,871千円増加し、395,304千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、223,410千円の収入（前年同期比188,228千円増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益73,945千円、減損損失89,166千円、のれん償却額36,120千円、減価償却費36,112千円などによるものであります。また、減少要因の主なものは、法人税等の支払額32,697千円などによるものであります。

(後略)

#### 【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて179,871千円増加し、395,304千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、223,410千円の収入（前年同期比188,228千円増）となりました。これは、税金等調整前当期純利益84,155千円、減損損失89,166千円、のれん償却額36,120千円、減価償却費36,112千円などによるものであります。また、減少要因の主なものは、法人税等の支払額42,907千円などによるものであります。

(後略)

#### (4) 今後の見通し

##### 【訂正前】

(前略)

以上により、2022年3月期の業績につきましては、売上高2,337,275千円（当連結会計年度比5.0%増）、営業利益121,913千円（同136.3%増）、経常利益111,515千円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益64,704千円（同43.3%増）をそれぞれ見込んでおります。

(後略)

##### 【訂正後】

(前略)

以上により、2022年3月期の業績につきましては、売上高2,337,275千円（当連結会計年度比5.0%増）、営業利益121,913千円（同97.2%増）、経常利益111,515千円（同4.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益64,704千円（同43.3%増）をそれぞれ見込んでおります。

(後略)

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

##### 連結損益計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,982,711	2,225,698
売上原価	1,636,163	1,867,755
売上総利益	346,547	357,942
販売費及び一般管理費	298,474	<u>306,360</u>
営業利益	48,072	<u>51,581</u>
営業外収益		
受取利息	2	3
助成金収入	4,199	51,856
受取貸貸収入	8,832	8,832
貸倒引当金戻入	1,198	3,553
その他	6,136	17,467
営業外収益合計	20,368	81,713
営業外費用		
支払利息	23,679	23,333
その他	6,925	3,470
営業外費用合計	30,604	26,803
経常利益	37,837	<u>106,491</u>
特別利益		
固定資産売却益	8,091	—
立退料収入	—	60,000
負ののれん発生益	—	81
特別利益合計	8,091	60,081
特別損失		
固定資産除却損	0	3,461
減損損失	—	89,166
特別損失合計	0	92,627
税金等調整前当期純利益	45,928	<u>73,945</u>
法人税、住民税及び事業税	27,736	<u>31,638</u>
法人税等調整額	1,740	△2,860
法人税等合計	29,477	<u>28,778</u>
当期純利益	16,451	45,167
親会社株主に帰属する当期純利益	16,451	45,167

## 【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,982,711	2,225,698
売上原価	1,636,163	1,867,755
売上総利益	346,547	357,942
販売費及び一般管理費	298,474	<u>296,150</u>
営業利益	48,072	<u>61,791</u>
営業外収益		
受取利息	2	3
助成金収入	4,199	51,856
受取賃貸収入	8,832	8,832
貸倒引当金戻入	1,198	3,553
その他	6,136	17,467
営業外収益合計	20,368	81,713
営業外費用		
支払利息	23,679	23,333
その他	6,925	3,470
営業外費用合計	30,604	26,803
経常利益	37,837	<u>116,701</u>
特別利益		
固定資産売却益	8,091	—
立退料収入	—	60,000
負ののれん発生益	—	81
特別利益合計	8,091	60,081
特別損失		
固定資産除却損	0	3,461
減損損失	—	89,166
特別損失合計	0	92,627
税金等調整前当期純利益	45,928	<u>84,155</u>
法人税、住民税及び事業税	27,736	<u>41,848</u>
法人税等調整額	1,740	△2,860
法人税等合計	29,477	<u>38,988</u>
当期純利益	16,451	45,167
親会社株主に帰属する当期純利益	16,451	45,167

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,928	<u>73,945</u>
減価償却費	33,919	36,112
のれん償却額	27,895	36,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,852	△4,612
受取利息	△2	△3
支払利息	23,679	23,333
減損損失	—	89,166
立退料収入	—	△60,000
負ののれん発生益	—	△81
助成金収入	△4,199	△51,856
固定資産除却損	0	3,461
有形固定資産売却損益(△は益)	△8,091	—
売上債権の増減額(△は増加)	△60,899	4,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24	△578
仕入債務の増減額(△は減少)	1,756	1,736
その他	12,897	16,546
小計	71,007	<u>167,468</u>
利息の受取額	2	3
利息の支払額	△23,754	△23,220
立退料の受取額	—	60,000
助成金の受取額	4,199	51,856
法人税等の支払額	△16,272	<u>△32,697</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,181	223,410
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240	—
定期預金の払戻による収入	—	1,140
有形固定資産の取得による支出	△21,811	△6,470
無形固定資産の取得による支出	△3,520	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,230	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	626
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	17,427	△10,544
事業譲受による支出	△111,970	—
貸付けによる支出	△49,000	—
その他	2,631	△1,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,712	△16,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	602,598
長期借入金の返済による支出	△331,066	△621,280
リース債務の返済による支出	△7,049	△8,244
セールアンドリースバック取引による収入	203,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,884	△26,926
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,646	179,871
現金及び現金同等物の期首残高	233,079	215,433
現金及び現金同等物の期末残高	215,433	395,304

## 【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,928	<u>84,155</u>
減価償却費	33,919	36,112
のれん償却額	27,895	36,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,852	△4,612
受取利息	△2	△3
支払利息	23,679	23,333
減損損失	—	89,166
立退料収入	—	△60,000
負ののれん発生益	—	△81
助成金収入	△4,199	△51,856
固定資産除却損	0	3,461
有形固定資産売却損益(△は益)	△8,091	—
売上債権の増減額(△は増加)	△60,899	4,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24	△578
仕入債務の増減額(△は減少)	1,756	1,736
その他	12,897	16,546
小計	<u>71,007</u>	<u>177,678</u>
利息の受取額	2	3
利息の支払額	△23,754	△23,220
立退料の受取額	—	60,000
助成金の受取額	4,199	51,856
法人税等の支払額	△16,272	<u>△42,907</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>35,181</u>	<u>223,410</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240	—
定期預金の払戻による収入	—	1,140
有形固定資産の取得による支出	△21,811	△6,470
無形固定資産の取得による支出	△3,520	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,230	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	626
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	17,427	△10,544
事業譲受による支出	△111,970	—
貸付けによる支出	△49,000	—
その他	2,631	△1,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△167,712</u>	<u>△16,612</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	250,000	602,598
長期借入金の返済による支出	△331,066	△621,280
リース債務の返済による支出	△7,049	△8,244
セールアンドリースバック取引による収入	203,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,884	△26,926
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,646	179,871
現金及び現金同等物の期首残高	233,079	215,433
現金及び現金同等物の期末残高	215,433	395,304

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

【訂正前】

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	デイサー ビス	有料老人ホ ーム	在宅サー ビス	教育・紹 介派遣	計		
売上高							
外部顧客への売上高	545,859	1,300,890	196,973	181,974	2,225,698	—	2,225,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	70,585	70,585	△70,585	—
計	545,859	1,300,890	196,973	252,560	2,296,283	△70,585	2,225,698
セグメント利益	85,887	89,396	79,934	11,149	266,368	<u>△214,786</u>	61,791
セグメント資産	111,160	836,427	108,468	117,528	1,173,584	382,994	1,556,579
その他項目							
減価償却費	4,590	19,614	478	1,192	25,875	10,236	36,112
のれんの償却額	—	24,711	—	11,409	36,120	—	36,120
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,638	2,831	—	—	6,470	—	6,470

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額△214,786千円は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(後略)

【訂正後】

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	デイサー ビス	有料老人ホ ーム	在宅サー ビス	教育・紹 介派遣	計		
売上高							
外部顧客への売上高	545,859	1,300,890	196,973	181,974	2,225,698	—	2,225,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	70,585	70,585	△70,585	—
計	545,859	1,300,890	196,973	252,560	2,296,283	△70,585	2,225,698
セグメント利益	85,887	89,396	79,934	11,149	266,368	<u>△204,576</u>	61,791
セグメント資産	111,160	836,427	108,468	117,528	1,173,584	382,994	1,556,579
その他項目							
減価償却費	4,590	19,614	478	1,192	25,875	10,236	36,112
のれんの償却額	—	24,711	—	11,409	36,120	—	36,120
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,638	2,831	—	—	6,470	—	6,470

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額△204,576千円は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(後略)

以上